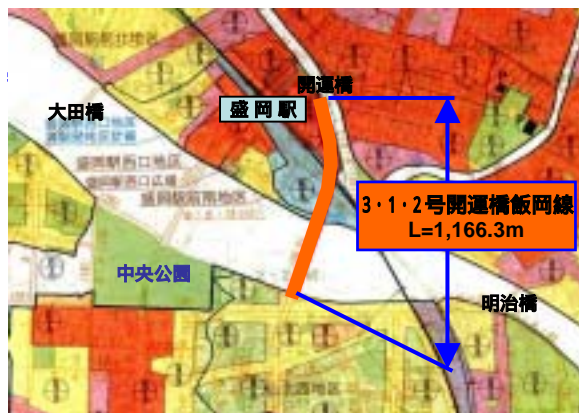


事業による成果、事例等

都市計画道路開運橋飯岡線（盛岡市） 盛岡市事業

1 位置図



事業目的

盛岡市の将来道路計画網の基本パターンである2環状6放射道路における都心環状道路の機能を担う道路であり、現都心の交通結節点である盛岡駅前地区と新都心となる盛岡南地区を結ぶ重要な幹線道路として整備を行った事業です。

全体延長 1163.3m

事業期間 S49 ~ H14

2 整備の概要

盛南大橋工区 延長 443.3m(うち橋りょう429.0m)、幅員23.8m(4車線)

JR構内(こ線橋) 延長285.0m、幅員26.5 ~ 36.0m(4 ~ 6車線)

盛岡駅前地区 延長438.0m、幅員26.5 ~ 36.0m(4 ~ 6車線)

開通の様子



現市街地から



<平成15年度街路事業コンクール国土交通大臣賞を受賞>

河川により分断されていた地区同士を連絡し、北東北の拠点としての発展に大きく寄与するとともに、魅力ある都市空間を創出したことが大きく評価されました。

3 事業の効果

本路線の完成により、雫石川に分断されていた現市街地と新市街地が直接結ばれ、交通の利便性向上とともに、盛岡市の新都心としての役割が期待される盛岡南地区の開発促進に、大きく貢献することとなりました。

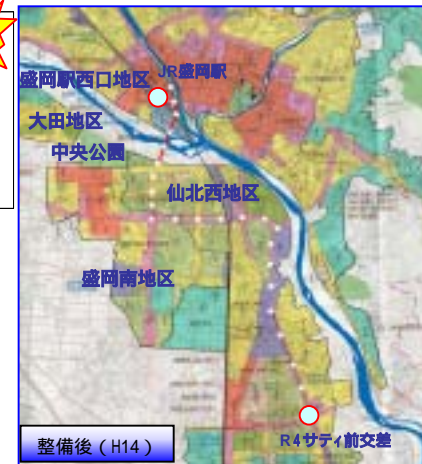
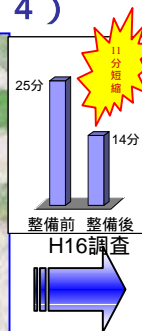
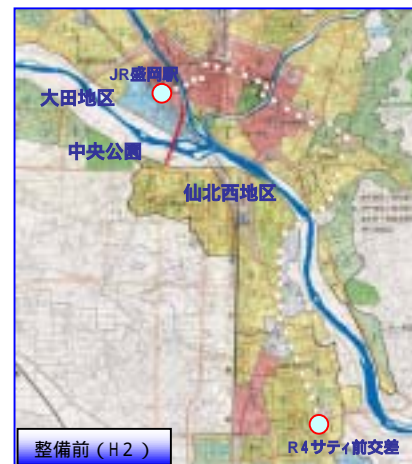
(盛岡南新都市開発整備事業)

施行面積313.5ha 計画人口1万8千人

(盛岡市南部から市中心部へのアクセス性向上)

R4サティ交差点 ~ JR盛岡駅 (11分短縮)

都市計画の変化 (H2 ~ H14)



4 その他の整備効果

電線共同溝整備による無電柱化が図られ、快適な空間となっています。歩道内への融雪施設整備により、冬期間における安全な歩行者空間が確保されました。

盛岡市環境デザイン委員会により『未来性』と自然と歴史に恵まれた『盛岡らしさ』を活かした照明灯、標識柱、高欄などのデザインが施され、良好な街路景観が形成されました。

駅前広場を3,000㎡拡張し、タクシー待機台数が80台に増加。

北上川堤防沿いは、河川敷空間と調和した広い歩道整備により、ゆとりの歩行者空間となっています。